

外国人留学生特別入学者選抜（医療福祉学専攻）

採点・評価基準	医療福祉学専攻のアドミッション・ポリシー（AP）に基づき、出願データ評価、小論文評価、面接試験の結果を総合的に評価し、可否を判定する。 ●評価項目と関連するアドミッション・ポリシー（AP） <u>出願データ評価</u> 【学業成績】知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価 対応する AP：「科学的知識と技能を学び続ける力」 「問題を解決する力」 【研究計画・研究業績】知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価 対応する AP：「科学的知識と技能を学び続ける力」 「問題を解決する力」 【業績（研究活動・社会活動・職歴等）】主体性・多様性・協働性を評価 対応する AP：「チームワークとリーダーシップを発揮する力」 「対象者を支援する力」 <u>小論文評価</u> 知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、日本語力、博士後期課程へ進学を希望する理由と抱負を評価 対応する AP：「科学的知識と技能を学び続ける力」 「自己実現を達成する力」 <u>面接試験評価</u> 知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価 対応する AP：「科学的知識と技能を学び続ける力」 「チームワークとリーダーシップを発揮する力」 「対象者を支援する力」 「問題を解決する力」 「自己実現を達成する力」
可否判定基準	出願データ評価、小論文評価、面接試験の合計点上位から順位付けを行い、総合的に判定する。 同点者の取り扱い 合格点に達した、同一順位者が複数いる場合は、すべて合格とする。